

一般質問

高齢化時代における今後の施策について



衣笠 利則 議員
(21政会・加西ともて育つ会)

問 加西市における65歳以上の人口は、5月末現在で1万4,413人、高齢化率は32.58%となっており、5年後には35%近くになるのではないかと。高齢者が住み慣れた地域で、健康でいきいきと生活できることが最も大切だ

が、健康寿命についての加西市の取り組みについてお聞きする。

答 健康上の問題がなく、日常生活を送ることができることが基本ですが、たとえ病気などになっても自立した日常生活の継続、高齢者自身の健康観維持や精神的自立、地域や家庭内での役割の継続など身体的、精神的、社会的な健康維持を図ることが健康寿命につながると考えています。地域で実施されている、いきいき100歳体操などで身体面での維持、サロンによる精神面での活性

化と社会性の維持をはじめ生活全般の支援により、高齢者自身が健康観を維持できるように、地域の活動を支援していきたいと考えています。

意見 高齢者の運転による交通事故が絶えません。高齢者の方が免許返納により自らの足となるものがなくなり、病院、買い物に行くことができない。加西市における公共交通のあり方は、高齢化時代に対応し、市民のニーズに合った公共交通機関であるべきと考える。

女性参画について



佐伯 欣子 議員
(21政会・加西ともて育つ会)

問 現在の取り組みと現状について。

答 男女共同参画週間には、地域交流センターに男女共同参画の情報や記事などを掲載、カフェのように気楽に意見交換できるセミナーなどの実施、また、

マーガレット・サッチャーを題材にした映画の上映を予定しています。一方、各種検討委員会や委員としてさまざまな分野の女性に参画していただきながら、職員自身の意識改革にも努めたいと考えています。加西市の管理職に占める女性の割合は、平成29年度では10%。内訳は、部長職0、課長級12.2%。課長補佐級37.1%、係長級30.2%です。引き続き女性の働きやすい環境を推進し、積極的な女性管理職の登用に努めたいと考えています。

問 女性セミナーについて。

答 昨年度は、女性活躍と子育て応援の講演会を開催し、多数の参加がありました。その他、小規模セミナーや映画上映も実施しました。小規模セミナーは、託児所の設置、週末の開催など、できる限り多くの方に参加していただけるよう検討したいと考えています。

■その他の質問項目

・給食センターの在り方について

ふるさと創造会議について



北川 克則 議員
(令和新風加西)

問 市が現在把握している地域課題は。

答 共通する地域課題としては、役員の高齢化あるいは後継者不足、そのほか活動に対する地

域住民の関心の度合い、拠点施設、地域内の既存の各種団体の事業との重複、高齢者による買い物や病院への移動手段的確保などがあります。

問 美バースデーの人手不足の取り組み事例は。

答 子供や地区役員がいない自治会では、町内に集積拠点を1ヶ所設け、この拠点に各家々が廃品を持ってこられ、業者がその町の拠点を回収しているところ

もあります。また、回収する場所を数か所に限定し、各家から集めて頂き、子供や地区役員が回収する個所数を減らす工夫をされています。

意見 先行地区の取り組みが後発地区の参考やヒントにもなりますので、今後は情報提供や仕組み作りを積極的にお願ひしたい。具体的には、ペーパー資料だけでなく、見たいときに取り出せるデータベースがあれば、有効に活用できると考える。